

諏訪湖環境研究センター（仮称）の機能の方向性（案）

諏訪湖の水環境保全に係る 調査研究等の現状・主な課題

課題解決等に向けて

センターの機能（業務）案

諏訪湖の近隣地に設置し、諏訪湖を取り巻く状況変化に対応して調査研究を行うとともに、情報発信や環境学習を推進する拠点を設置
 (①調査研究の充実強化、②環境学習、情報発信の推進、③関係機関との連携強化)

①諏訪湖の水質や生態系については、解明できていないことが多い（貧酸素改善手法、植物・魚類等の状況）。

○調査研究に注力できる体制（知見、人材、人員等）

②諏訪湖の水質・調査研究等のデータが十分活用されていない。

○データの集約・共有・整理
○データの有機的な活用

③県では複数機関に分かれて調査研究が行われており、効果的・効率的な体制となっていない。

○業務集約による一体的な測定・調査研究
○諏訪湖近隣地への拠点設置（状況把握、測定等効率化、緊急時等対応）

④諏訪湖周でまとまった学習をする仕組みや場がない。

○拠点設置による環境学習の企画・実施
○誰もが同じ内容を学べる

⑤住民の諏訪湖浄化に対する関心が下がってきている。

○諏訪湖を知ることができる拠点設置
○関心を高める情報発信

⑥県機関で実施している調査研究内容が住民等に知られていない。

○拠点設置による効果的な情報収集・発信

⑦調査研究、環境学習等の推進には、大学、民間団体等との連携が不可欠であるが、十分連携できていない。

○諏訪湖周辺への拠点設置による連携強化
○調査研究、環境学習等推進のための企画・調整

【機能 1】

諏訪湖の水環境・生態系保全に係る測定、調査研究を一体的に実施し充実強化



県内河川・湖沼等の水環境保全にもつなげる

【機能 2】

諏訪湖の水環境保全等に係るデータの集約・整理・活用により調査研究を推進

【機能 3】

諏訪湖の水環境保全に係る情報発信や環境学習の新たな場として活用

【機能 4】

センター機能を発揮するための企画・調整、関係機関との連携強化(ネットワークづくり)

【機能を発揮するため考慮すること】

- 効果的・効率的な組織体制
- 人材の確保・育成

諏訪湖環境研究センター（仮称）業務概要（検討試案）

【現行】（主な業務）

【諏訪湖環境研究センター（仮称）】

環境保全研究所（水・土壌環境部）

- 諏訪湖DO測定・調査
 - 諏訪湖底質調査
 - 諏訪湖流入河川汚濁負荷量調査
 - 諏訪湖の覆砂場所モニタリング
 - 水生生物保全に係る環境基準項目調査*
 - 水質常時監視等委託業務の監督
 - 野尻湖流入河川調査
 - 水環境等保全に係る環境学習の支援
- * 諏訪湖以外含む

<人員> 8名

松本保健福祉事務所検査課

【水質保全等】

- 諏訪湖の水質測定（常時監視等）
- 諏訪湖の植物プランクトン調査

（以下中南信地域）

- 工場・事業場排水検査
- 地下水等の水質測定
- 上流域河川の水質測定

【大気保全等】

- 大気常時監視
- 事業場等排出源検査（VOC、ばい煙等）
- 食品・医薬品・病理細菌検査

<人員> 13名

水産試験場諏訪支場

- 諏訪湖のワカサギ等水産資源の調査、増殖の研究
- 諏訪湖の水生植物調査
- 諏訪湖の生態系等の環境学習の支援
- ワカサギ資源管理技術開発
- 南信地方の増養殖技術・魚病対策指導
- 寒天の製造等の技術指導
- アユ種苗生産

<人員> 5名

諏訪湖関連

- : センターで担うことが想定される業務

センター統括

総務・管理関係

- 予算・経理、庁舎管理、庶務

企画・調整関係

- ◎ 調査研究企画、関係機関との調整 【機能4】

水環境・生態系保全関係

調査研究 【機能1・2】

- 諏訪湖DO測定・調査、底質調査
- 諏訪湖動植物プランクトン調査、水生動植物調査
- 諏訪湖流入河川汚濁負荷量調査
- 諏訪湖覆砂場所モニタリング
- 諏訪湖のワカサギ等水産資源の調査、増殖の研究
- ◎ 諏訪湖創生ビジョンで掲げる調査研究
（貧酸素水塊挙動、生態系データ解析等）

◎ 県内河川・湖沼等の水環境保全の調査研究

- 野尻湖流入河川調査

◎ 新たな課題等に関する調査研究

測定等 【機能1・2】

- 水質測定（河川・湖沼の常時監視等）
〔中南信地区〕
- 工場・事業場の排水検査〔中南信地区〕
- 水質常時監視等委託業務の監督

大気環境関係〔中南信地区〕

- 大気常時監視
- 事業場等排出源検査（VOC、ばい煙等）

環境学習・情報発信関係 【機能3】

- ◎ 学習会、講座、成果発表等
- ◎ 情報集約・発信（HP、展示、文献収集等）

◎ : 充実強化が想定される業務等



連携・情報共有 【機能4】

諏訪建設事務所

- ・ 河川・湖沼等の整備・管理

信州大学山岳科学研究所

- ・ 諏訪湖の水質・底質・水生生物等調査

市町村・民間団体・住民・大学・県機関・他県等

- ・ 環境学習、調査研究

諏訪湖環境研究センター（仮称）で行う調査研究（案）

●：センター、◎：他機関との連携・協働、□：他機関

調査研究等内容		実施区分 (想定)	備考
諏訪湖創生ビジョンに掲げる項目	① 諏訪湖における底質実態、貧酸素発生状況の把握及び改善手法	◎（信大）	
	② 貧酸素水塊の挙動	◎（信大）	
	③ ヒシ除去場所及び覆砂場所における水質浄化効果と生態系に及ぼす影響	◎（諏訪建）	
	④ ヒシの繁茂状況、沈水植物の分布状況、水生植物の適正管理など植生	◎（諏訪建）	
	⑤ 湖水の水質や生態系関係データの解析、汚濁負荷物質の収支など汚濁負荷のメカニズム	●	
	⑥ 諏訪湖に流入する河川の水量、諏訪湖への地下水流入の状況など水の流れ	◎（信大、諏訪建）	調査のみ
	⑦ 諏訪湖の水深などの状況の確認	□（諏訪建）	調査のみ
	⑧ 多様な魚類の生息環境を形成するための技術	●◎（水試）	
	⑨ 流出水対策地区における汚濁負荷の低減	◎（諏訪振）	
	⑩ 諏訪湖の水質・生態系等水環境全体をよりわかりやすく評価できる指標や目標	◎（諏訪振）	
	⑪ 生態系豊かな湖辺環境の創出・検証	◎（諏訪建）	
	⑫ 諏訪湖のもつ自然環境の経済的評価など価値の数値化	◎（関係機関）	
その他	⑬ 野尻湖に関する調査研究（流入河川調査、水草帯の復元・保全の研究）	●	
	⑭ 新たな課題等に関する調査研究	●◎□	

※（ ）内は想定される連携先又は実施機関

※諏訪振：県諏訪地域振興局、諏訪建：県諏訪建設事務所